

# 令和元年度 事業報告

自平成31年4月 1日  
至令和 2年3月31日

## I 事業概要

普及啓発事業や社会貢献活動を展開した。主な事業は次のとおり。

- (1) 研修事業等
  - ①技術研修
  - ②コンプライアンス講習会
  - ③経営者研修会
  - ④県民測量講座
  - ⑤担い手育成事業
- (2) 社会貢献活動の取り組み
  - ①(公財)茨城県アイバンクとの協定に基づく献眼登録やチャリティゴルフでの募金活動
  - ②「世界の子どもにワクチンを 日本委員会」へのペットボトルキャップ提供
  - ③県庁敷地内にある「茨城県測量原標」周辺の清掃、管理作業
  - ④県との廃棄物不法投棄監視協定書の締結に基づく通報

### 【活動状況の概要】

#### 1 理事会の実施状況

##### (1) 第1回

日時：4月23日(火)午後3時～午後4時15分

場所：測量設計会館201会議室

議案：平成30年度事業報告及び収支決算の決定について

##### (2) 第2回

日時：6月7日(金)午後2時～午後4時

場所：測量設計会館201会議室

議案：令和元年度事業の確認について

##### (3) 第3回

日時：12月6日(金)午後3時～午後5時20分

場所：測量設計会館201会議室

議案：令和元年度中間決算の承認について

台風19号等の災害対応状況について

令和2年賀詞交歓会について

石下紫峰高等学校の担い手育成事業継続の有無について

(4) 第4回

日時：3月6日（金）午後1時30分～午後2時40分

場所：測量設計会館201会議室

議案：令和2年度事業実施計画について

令和2年度収支予算書について

理事及び監事の定数について

報告：令和元年度収支状況について

2 会員の推移

	平成31年3月末	期中増加	期中減少	令和2年3月末
正会員	48	0	0	48
賛助会員	0	0	0	0
計	48	0	0	48

## Ⅱ 総務経営委員会

委員長 佐藤清一

新元号となり、これからの測量・建設コンサルタント業の未来に向けて「次世代への懸け橋」となるよう、普及啓発事業や社会貢献活動を展開した。

### 【公益事業】

#### 1 普及啓発事業

##### (1) 懸垂幕、横断幕の掲出

5月28日(火)～6月5日(水) 県出先機関6箇所  
広く一般県民に測量の日を認知してもらうため県の主な出先機関の庁舎に懸垂幕と横断幕を掲示した。

##### (2) 「測量の日」記念 測量体験学習事業(副題:私たちの学校は地球のどこ)の実施

###### ①体験学習

6月5日～13日 県内5小学校 参加児童数358名  
県内5校の小学生に対して授業の一環として測量体験学習を実施した。  
併せて学校の位置を知ってもらうために校内に経緯度標を設置した。

###### ②感想文表彰式

8月22日(木) 開発公社ビル 参加児童数8名

##### (3) 防災講座の開催

###### ①防災講座

6月11日～7月3日 県内5中学校 参加生徒数474人  
昨年度50周年記念事業で中学生を対象とした「防災講座」を茨城県教育庁の要請により県内5校で継続事業として開催した。

###### ②感想文表彰式

8月22日(木) 市町村会館 参加生徒数7名

##### (4) 協会情報の発信

###### ①広報誌「みちびき」第4号の発刊

1月末 1,000部

###### ②ホームページの随時情報更新

## 2 研修事業

### (1) 経営者研修会の開催

1月13日(水) 水戸京成ホテル 参加者数49名  
測量設計技術者の知識並びに質の向上を図るため、関連する制度体系や測量設計業者としてのあるべき姿と方向性等について研修会を行った。

①茨城県副知事 宇野善昌様

「新しい茨城への挑戦」

②(一財)先端建設技術センター理事長 佐藤直良様

「最近、建設分野で感じたこと」

### (2) 第6回県民測量講座の開催

8月10日(土) 県立歴史館 参加者数52名  
測量設計の知識普及や社会資本整備を支える業界への理解を深めてもらうため有識者を招いて開催した。県民対象、参加費無料。

茨城大学教育学部 小野寺淳教授 「水戸の歴史について」

### (3) 担い手育成事業の実施

①4月～1月の29日間 石下紫峰高校 参加生徒数 3年生10名

②11月～1月の10日間 水戸農業高校 参加生徒数 3年生20名

茨城県の将来を担う高校生を対象に授業の一環として、測量設計に関する座学と実習による講座を実施した。

協力会社(講師派遣)：石下紫峰高校6社、水戸農業高校5社

## 3 調査研究事業

### (1) 茨城県土木部との意見交換会の実施

8月5日(月) 県庁入札室 参加者数26名(うち協会13名)  
実態調査、関係機関との意見交換等を通じて入札契約制度の見直し、技術者の地位向上、後継者育成等、様々な課題についての提案、要望等を行った。

①改正品確法に伴う技術者の有効利用について

②管理技術者にCPDポイントの必要性について

③道路、河川管理データの数値化について

④工事起工測量及び出来形測量を測量法の精度での実施について

### (2) 測量CPD(茨城版)の運営

各種研修会等にCPDポイントを付与して、茨城版として管理運営した。  
今年度申請件数14件

## 【共益事業】

### 1 関連団体との交流

測量設計業の振興を図り、情報収集と連携を密にした活動を展開するため、

全測連、関東地区協議会、北関東3県連絡会議、4団体交流会等各種団体の会議に積極的に参加し、取得した情報をホームページ等で公開した。

## 2 第31回「測量の日」アイバンクチャリティーゴルフ大会の開催

6月5日（水） 水戸レイクスカントリークラブ 参加者数165名  
参加者の健康増進とチャリティーを目的に、広く参加者を募り、募金は（公財）茨城県アイバンクと（公財）茨城新聞文化福祉事業団に寄付した。

## 3 測量機器所有状況等の調査

6月17日 ホームページに掲載

品確法に関連し、作業に伴う会員企業の測量関係機器所有状況等について整理し、検定の有無等についてもホームページで公表した。

## 【社会貢献事業】

### 1 測量設計相談所の開設

県民からの測量設計に関する相談ごとに対応するため、ホームページ上に「県民無料相談所」を開設し、広く県民からの相談に応じた。

### 2 公益財団法人茨城県アイバンクへの協力

公益財団法人茨城県アイバンクの趣旨に賛同し、各会員へ献眼登録をすすめるとともに、チャリティーゴルフ大会時に募金活動を行った。

### Ⅲ 危機管理委員会

委員長 三上靖彦

#### 1 県土木部防災訓練への参加

7月3日(水) 各会社等 参加者47社

県土木部と災害協定締結団体33団体が、豪雨災害に備え、公共土木施設等の応急復旧対策や協力体制強化のために実施したもので、当協会は緊急連絡網を使って作業可能人数等の報告訓練を行った。

県との協定：災害時における被害状況調査の応援協力に関する協定  
(平成19年10月17日締結)

#### 2 災害復旧事業に関する研修会の開催

9月4日(水) 測量設計会館3階大会議室 参加者数40名

災害復旧事業に関する協会会員の技術力向上のために行った。

①県河川課無水防災・砂防対策室 主任 小貫徹也様、技師 川村英貴様  
「水災害・土砂災害における対策について」

②国土交通省水管理・国土保全局防災課 災害査定官 加藤孝様  
「わかりやすい災害復旧事業について」

#### 3 建設フェスタ2019への参加

11月2日(土) 県立笠松運動公園特設会場

参加者数(協会ブース)約900名

協会は、測量体験コーナー、無料測量設計相談所を開設したほか、日本分県パズルや立体日本地図コーナーを出展。各出展者は、県内では台風19号等による災害復旧作業等多忙な中での参加。来場者数は最多の2万6千人。

#### 4 茨城大学との連携学習講座の実施

##### (1) ゼロからはじめるまちづくり・建設技術

10月9日(水)～11月6日(水)5日間 測量設計会館201会議室

参加者数 茨城大学大学院修士課程1年生延べ20名

協会講師7名

まちづくりの基礎となる土木技術(調査、測量、補償、企画、計画、監理、維持管理、補修までの全体サイクル)について、理解を深めてもらった。

##### (2) 社会人のための建設技術基礎講習

10月3日(木)～31日(木)5日間

茨城大学社会連携センター研修室 参加者数延べ97名

協会講師7名

最新情報と現場の実態を学ぶことで、企画、計画から測量、補償、地質、設計、維持管理等に関わる建設コンサルタント全般のレベルアップを図り、

茨城のインフラづくりのプロを育てることを目的に実施した。

## 5 コンプライアンス研修会の開催

1月29日（水） 県開発公社ビル1階中会議室 参加者数79名

①（公財）公正取引協会 客員研究員 葛西文二様

「独占禁止法について」

②R&S 協働労務事務所 飯塚俊哉様

「働き方改革について」

\*茨城労働局委託事業の茨城働き方改革推進支援センター出前セミナーを活用

## IV 測量調査委員会

委員長 伊藤吉正

### 【研修事業】

#### 1 茨城県土木部職員研修（測量実習研修）への講師派遣

10月1日（火）～2日（水）2日間 県立歴史館 参加者数延べ81名  
協会講師8社30名

主催である県からの依頼により県土木部及び農林水産部の職員、市町村職員を対象に測量の基礎知識や測量技術の習得を目的に実施した。

#### 2 用地測量作業マニュアル改訂に係る研修会の開催

4月24日（水） 県立歴史館 参加者数149名 協会講師3社3名

県土木部監修の用地測量作業マニュアルを改訂したことに伴い、協会会員  
の他、県・市町村職員等も参加して実施した。

### 【調査研究事業】

#### 1 公共測量の概要及び三次元点群データを使用した断面図作成マニュアル案 についての研修会の開催

8月20日（火） 測量設計会館3階大会議室 参加者数70名

①国土地理院企画部 専門調査官 星野秀和様

「公共測量の概要及び三次元点群データを使用した断面図作成マニ  
ュアル（案）」

②福井コンピュータ（株）田中智子様

「三次元点群データを使用した断面図作成の実践」

国土地理院の後援により、測量技術者の最新技術習得のため研修会を開催  
した。

#### 2 GNSS 測量による水準測量（SSP 観測） 実地研修会の開催

令和2年1月17日（金） 測量部会員対象

県内の一級水準点10点について、東日本大震災後の変動量をSSP観測に  
より研修会を兼ねて毎年秋に実施したが、今年度は、台風による災害の影響で  
1月開催となった。

### 【社会貢献事業】

#### 1 茨城県測量原標の清掃と維持管理

5月29日（水） 県庁正門付近 参加者数10名

県庁敷地内に設置されている茨城県測量原標と周辺の清掃のほか、標石の  
状況を点検した。



**2 1級水準点及び基準点の清掃と維持管理**

7月31日まで 県内各地 参加者数19社  
県内の1級水準点及び基準点を全て確認し清掃を行った。

**3 1級水準点及び基準点の管理協定の調整**

県庁用地課と管理協定締結に向けた調整を進めている。

## V 建設コンサルタント委員会

委員長 司代洋和

### 1 土木設計研修会の開催

#### (1) 第9回（初級編）

6月28日（金） 測量会館3階大会議室 参加者数56名

協会会員（研修部会員）が講師となって道路構造令や線形計画等について研修した。

#### (2) 第10回（中級編 地質調査）

11月7日（木） 測量会館3階大会議室 参加者数21名

茨城県地質調査業協会技術委員を講師に招き、土木設計のための地質調査の解説設計への適用について、具体例を交えて研修した。

#### (3) 第11回（中級編 下水道設計）

11月29日（金） 測量会館3階大会議室 参加者数22名

エースモール工法協会、スピーカー協会及びMMホール協会から講師を招いて小口径推進工法の選定・詳細設計及び立孔設計について研修した。

### 2 RCCM受験対策講習会の開催

9月19日（木） 測量設計会館3階大会議室 参加者数18名

いであ（株）専務執行役員 社会基盤本部長 加藤憲一様

RCCM 資格試験の概要、論文Ⅰ（経験論文）、論文Ⅲ（管理技術力）、その他の試験ⅡやⅣの対応等について講義していただいた。

## VI 50周年記念事業特別委員会

委員長 佐藤清一

### 1 記念講演会の開催

4月5日（金） 市町村会館講堂 参加者数196名

(1) 茨城県知事 大井川和彦様

「活力があり、県民が日本一幸せな県を目指して」

(2) NHK 水戸放送局長 中原常雄様

「メディアからみた茨城」

(3) 県営業戦略部参事 橘川栄作様

「茨城の歴史から見た茨城の観光」

昨年1月18日に協会創立50周年を迎え、同日、記念式典を開催し、その一環として記念講演会を開催した。